うつ病休職者の社会的サポートがうつ病と自殺対策のカギ

うつ病休職者の総数は２０万人

公務員の休職者	４０００人
公立教員の休職者	５４０７人
正社員の休職者	１３２０００人
非正規労働者などの休職者	２２８００人

合計２００２０７人

うつ病休職者数47万人の試算もある

２００４年７月に発表された厚生労働省の調査では休職率は従業員３００人未満０．７９％、１０００人未満０．５４％、１０００人以上では０．３７％。これを元にすると正社員休職者数は４７万４千であると島悟（東京経済大学）は述べている。

働く者のメンタルヘルス相談室
www.mhl.or.jp

うつ病休職者の大量退職で国保の医療費突出

2012年7月17日日経新聞朝刊によれば、国民健康保険の1人あたりの医療費が、会社員や公務員健保の2倍にふくらんでいることが厚生労働省の調査で分かった。国保の医療費は20歳～69歳で会社員や公務員を上回った。

精神疾患で長期間入院する患者が会社を辞めて国保に入り、医療費を押し上げたと見られる。
健康保険別にみると国保の1人あたりの医療費が29万7260円と突出。これに対し大企業の健保組合は13万4006円、中小企業の協会健保は15万5388円、公務員の共済組合は15万140円だった。後期高齢者医療制度は89万7084円だった。
国費は働き盛りの年齢で医療費が頼り多い傾向がみられる。精神疾患2か刈る医療費が特に高い。保険局はうつ病を発症して会社を辞めると国保にはいるしかないので、医療費がふくらみやすいと見ている。

注①平成23年度国家公務員数64万人、うつ病休職者数8000人
国家公務員の職員数に占める精神疾患長期休職者の割合
平成18年 1．28％ 人事院調べ

注②平成23年度地方公務員数281万人、うつ病休職者数32000人
地方公務員の職員数に占める精神疾患長期休職者の割合
平成22年 1．14％ 地方公務員安全衛生推進協議会調べ

注③教員在職者に占める精神疾患休職者の割合
（在職者数９１９０９３人）
平成22年 0．59％ 文部科学省初等中等教育企画課調べ

注④正社員数（平成２３年末）３３００万人、うつ病休職者数推計１３２０００人
うつ病1ヶ月以上の休職者の割合 平均０．４％ うつ病罹患者数の推計 ６．１％
１．メンタルヘルス研究所発行「産業人のメンタルヘルス２００８年版」の調査（回答２６９企業）
２．労務行政研究所の２０１０年の調査では休職者の割合は０．４９％、（回答２５２社）
推計が３万人増える。公務員と正社員だけで２０万を超す。

非正規労働者を除くうつ病休職者数総合計
177400人

労働力調査によると平成23年の非正規労働者1834万人休職が成り立つためには健康保険からの傷病手当が不可欠である。

このうちパートアルバイトは1238万人
2割が社会保険加入者と見なし、その0．4％がうつ病休職なら9800人
派遣社員、契約社員は465万人

社会保険加入率は派遣大手でも6，7割という。
465万人の7割加入としてその0．4％がうつ休職ならば13000人となる

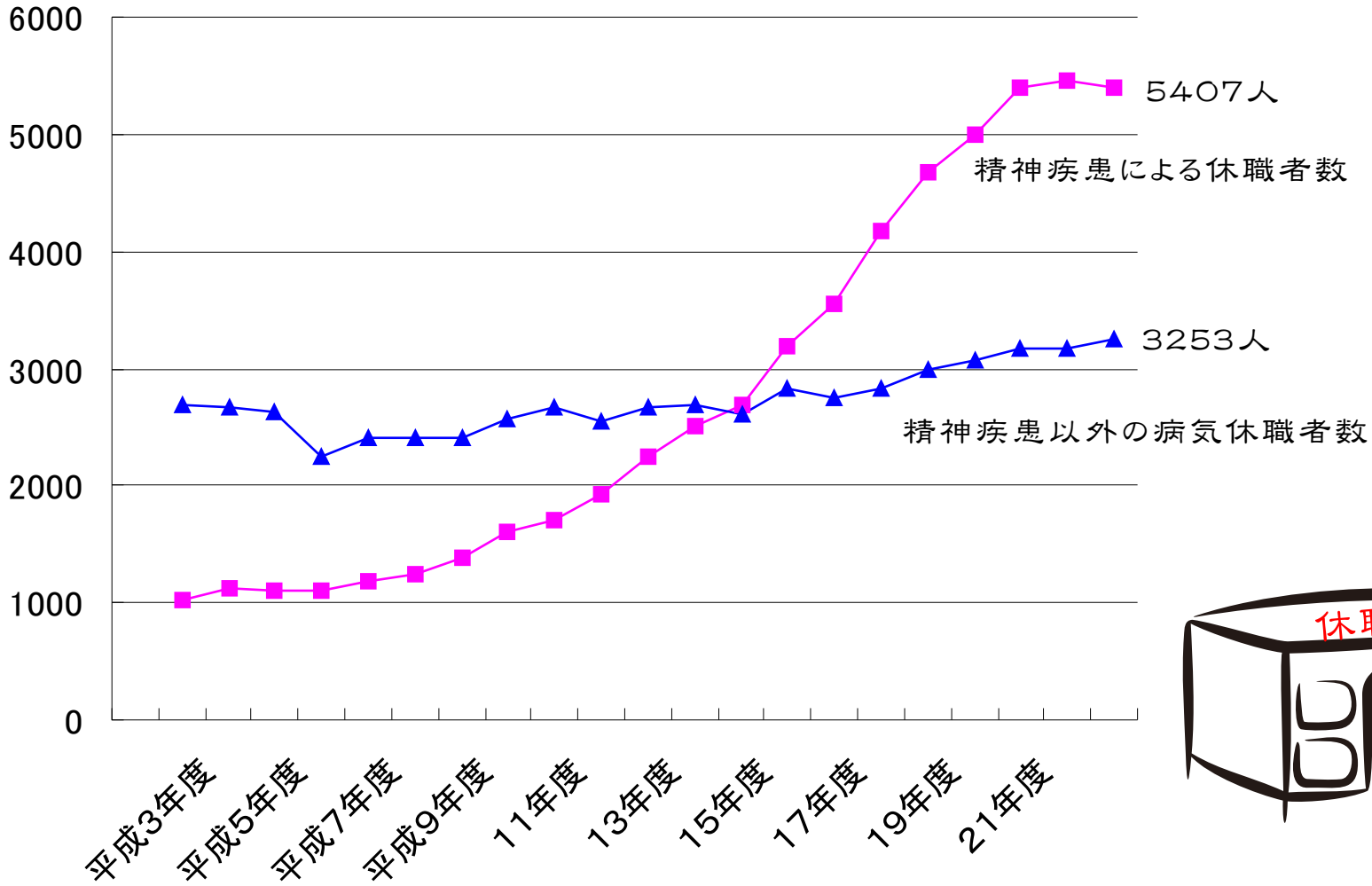
公務員、正社員を会わせて200200人
これがうつ病休職者20万人の根拠である。
非正規労働者の場合うつ病になれば休職を飛び越して退職となるのが現実である。
20万人は一番低く見た数字である。
左のデーターでは50万人になる。

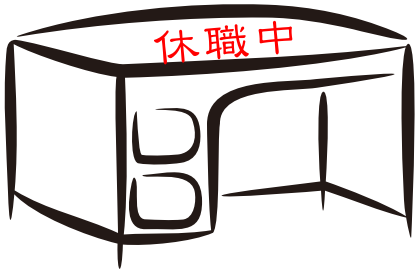
厚生労働省「平成２２年労働安全衛生基本調査」ではメンタルヘルスで1ヶ月以上休職がいる企業の割合は５．９％とあるがこれは事業所の割合であって休職者の割合を指しているのではない。週刊東洋経済６月16日号３６頁は誤って引用している。

働く者のメンタルヘルス相談室
www.mhl.or.jp

精神疾患休職者数がトップに

公立学校教員

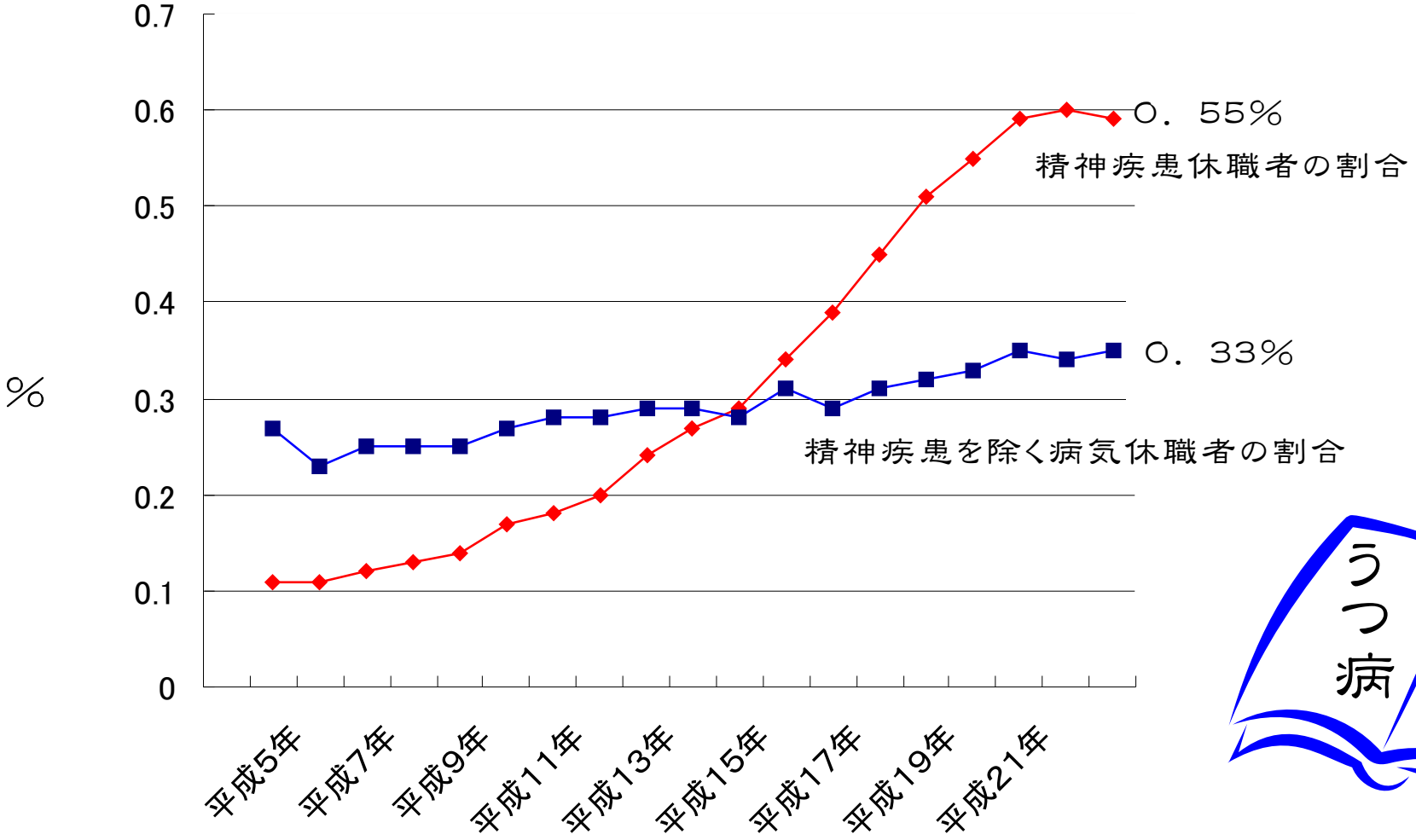




年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
精神のみ	1017	1129	1111	1113	1188	1240	1385	1609	1715	1927	2242	2503	2687	3194	3559	4178	4675	4995	5400	5458	5407
精神以外	2684	2666	2619	2251	2408	2404	2406	2562	2661	2546	2660	2697	2616	2823	2749	2839	2980	3074	3178	3169	3253

文部科学省初等中等教育企画課調べ

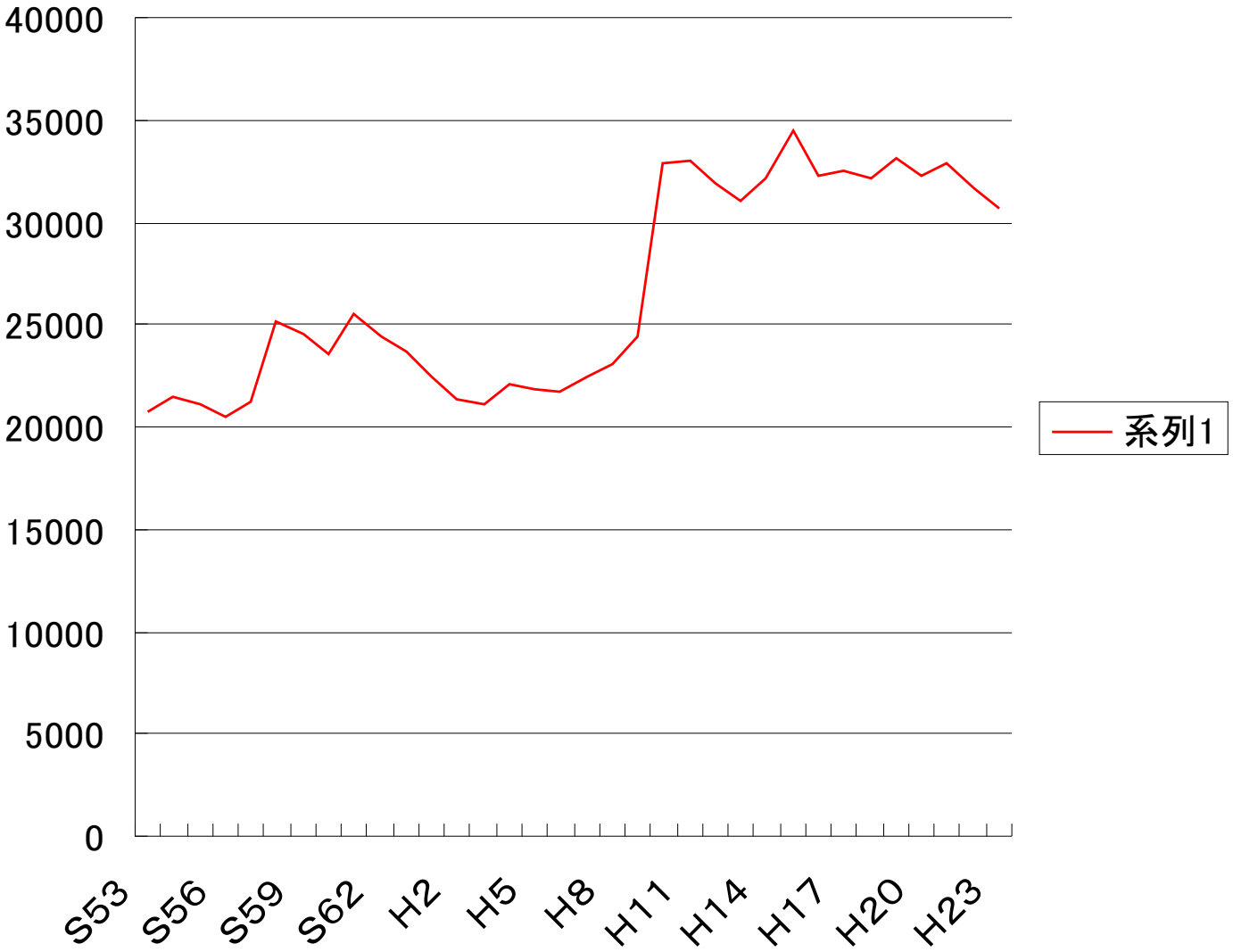
教員在職者に占める
精神疾患休職者の割合



年度	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
精神疾患のみ	0.11	0.11	0.12	0.13	0.14	0.17	0.18	0.2	0.24	0.27	0.29	0.34	0.39	0.45	0.51	0.55	0.59	0.6	0.59
精神疾患除く	0.27	0.23	0.25	0.25	0.25	0.27	0.28	0.28	0.29	0.29	0.28	0.31	0.29	0.31	0.32	0.33	0.35	0.34	0.35

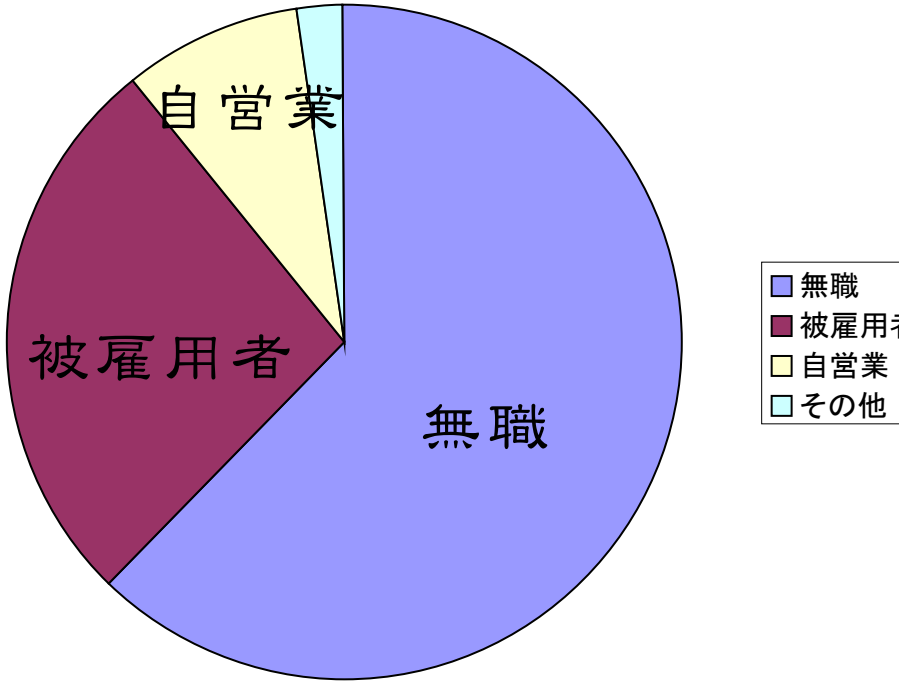
文部科学省初等中等教育企画課調べ

年次別自殺数


40000
35000
30000
25000
20000
15000
10000
5000
0
S53
S56
S59
S62
H2
H5
H8
H11
H14
H17
H20
H23
系列1

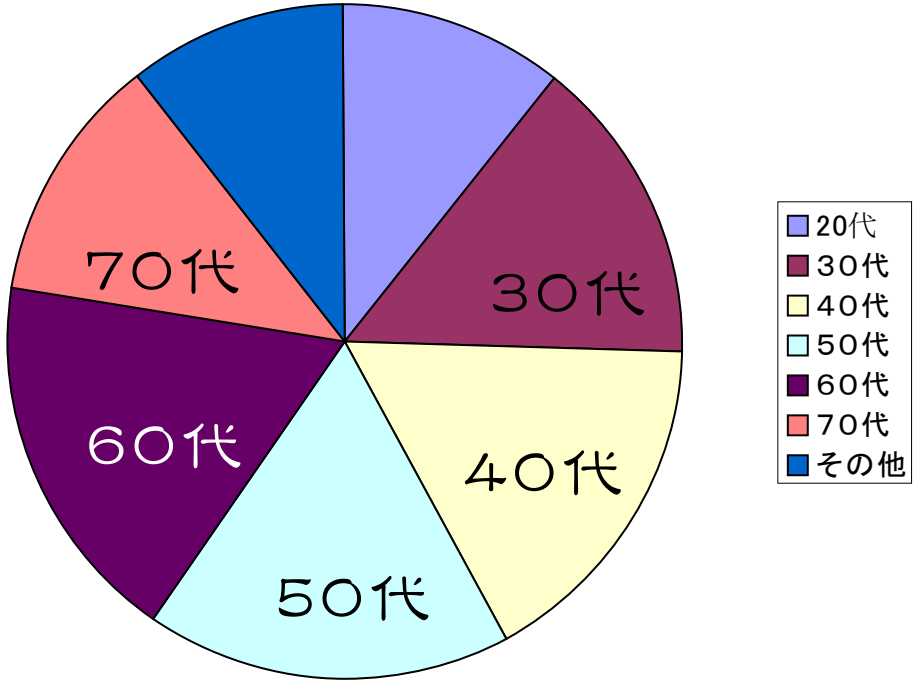
平成23年職業別自殺者と年代別自殺者の割合

職業別自殺者



会社員の自殺者は8207人

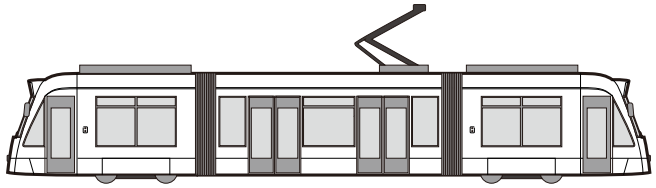
年代別自殺者の割合

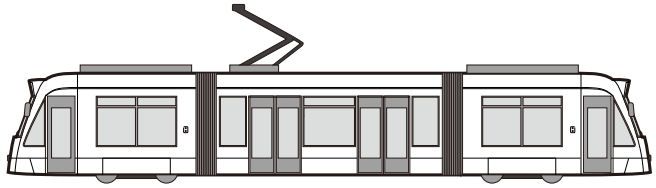


働き盛りが自殺している

人身事故のため運転を見合わせています

2012年4月10日JR片町線下り電車が徳庵駅に停車したまま動かなくなった。約1時間後京橋まで運行し、そこで運休。次の電車で目的地に向かった午前5時21分忍ヶ丘駅発の始発電車での出来事であった。新聞によれば上下25本が運休、13000人に影響した。被災者は伊丹税務署員だった。社内では「人身事故のためただいま運転を見合わせています」と言うアナウンスが繰り返された。（2012年4月11日伊福記）





4/10 毎日 夕刊

■JR片町線で人身事故 1万3000人影響

10日午前5時10分ごろ、大阪市城東区新喜多2、JR片町線の鯰江踏切（遮断機、警報機付き）で、同市鶴見区緑1の男性税務署員(49)が京橋発木津行き上り普通電車（7両編成、乗客50人）にはねられ、全身を強打して死亡した。府警城東署などによると、男性は兵庫県伊丹市の伊丹税務署に勤務。数日前から自宅に戻らず、家族が行方不明者届を出していた。事故の影響で上下25本が運休、12本が最大約1時間遅れ、約1万3000人に影響した。

http.www.mhl.or.jp

うつ病休職、心身のリズムを回復させ

もう一度、咲いてみようじゃないか

体内時計と病気の深い関係

講師：粂　和彦

国立大学法人　熊本大学発生医学研究所（幹細胞部門　多能性幹細胞分野）　准教授

ぐっすり眠る喜びを、あなたに

2013年2月2日午後1時半エル大阪6階大会議室 参加者には前回講座の小冊子を進呈

講師：粂　和彦　准教授自己紹介

1987年（昭和62年）に東京大学医学部を卒業した医師医学研究者です。なお、妻で教授の昭苑は同級生ですが、薬学部出身です。初期研修を立川相互病院（内科６科小児科のローテーションに、精神科整形外科産科内分泌科などの外来研修を加えた、今で言うスーパーローテーションに近い研修）で２年間終えた後は、生化学分子細胞生物学発生工学手法を用いた基礎医学研究に従事してきました。 現在は「睡眠」をテーマに、研究と診療を行っています。

インターネットでの睡眠相談にも応じています

心身のリズムを回復させ、もう一度咲いてみようじゃないか、講座参加費５００円。

主催：働く者のメンタルヘルス相談室

申し込みは電話06-6242-8596ＦＡＸ06-6881-0782